

## 研修医・指導医リレーエッセー<sup>②1</sup>



### 2年間の初期研修を通して

岡山ろうさい病院 初期研修医 和田 穰



岡山県医師会の会員の皆様、初めまして。岡山ろうさい病院初期研修医師2年目の和田穰と申します。大学在学中に初めて伺った病院見学が当院であり、医師や看護師をはじめとする医療スタッフの方々がとても優しく、良い雰囲気であり楽しく実習をさせていただきました。是非、ここで働かせていただきたいと感じたことを今でも覚えています。

私が初期研修をさせていただいております岡山ろうさい病院は岡山市南区に位置し、中規模ながら玉野市を含めた地域医療を幅広く担う急性期医療機関です。規模としては決して大きな病院ではありませんが、その分、各診療科同士の垣根が低く日常的に他科の先生方に相談しやすい環境が整っています。診療科を越えて患者さんについて議論できる風土は、医師としての視野を広げるうえで非常に重要であり、「皆で考え、支える医療」の大切さを自然と学ぶことができました。

一年目は、必修科を中心にローテーションを行い、初期研修の到達目標である救急対応の基礎を身につけました。軽症から重症まで多様な患者さんを前に、限られた情報の中で優先順位を考え、初期対応を行う経験は、医師としての土台を築く重要な時間であったと感じております。救急外来で初期対応を行った患者さんが入院となった場合には、そのまま担当医として診療に関わらせていただき入院後の治療方針の検討を通じて、救急対応から病棟管理へと繋がる一連の診療を学ぶことができました。上級医の先生方からの的確な助言やフィードバックを受けながら、問診・診察・検査・初期治療の一連の流れを繰り返し経験できたことは現在の診療にも確実に活かされていると感じております。

二年目は、学生時代から志望していた整形外科を中心に研修をさせていただきました。幸いにも臨床研修指導医の金丸先生をはじめとする経験豊富な先生方に恵まれ、救急外来での外傷対応のみならず人工関節置換術や脊椎疾患に対する手術といった高度な手術についても学ばせていただきました。また、手術手技そのものだけでなく、術前評価、周術期管理、術後のリハビリテーション、さらには退院支援に至るまで、整形外科診療を一貫して経験できたことは大変貴重でした。患者さんの生活背景や退院後の生活を見据えた医療の重要性を実感し、地域医療の中で、整形外科医が果たす役割や長期的な機能回復を見据えた医療の重要性について深く考える機会となりました。

二年間の研修を通じて、医師としての基本的姿勢とともに、自身が進むべき進路を明確に思い描くことができました。今後は初期研修でお世話になったこの病院にて、整形外科専攻医として引き続き研鑽を積んでいく予定です。これまでに学んだことを礎に、地域に根ざした医療を実践できる整形外科医となることを目標に日々の診療に真摯に向き合っていきたいと考えております。

最後になりますが、初期研修期間中にご指導を賜りましたすべての先生方、医療スタッフの皆様に、この場を借りて心より感謝申し上げます。